

おまえざき 市議会だより

第54号

2018. 5.6月

平成30年8月発行

- ② 6月議会定例会
- ③ 本会議質疑・委員会質疑
- ④ 一般質問
- ⑧ 委員会報告



◀学び歩きマップ



丸尾記念館



下水神社



旧陸軍観測所

池新田の由来

池新田は、1605年（慶長10年）、大石宗兵衛、本間惣兵衛親子によって、当時、新野、朝比奈、門屋にまたがって広大な沼地を形成していた新野池を干拓して、立村した新興村落、「池新田」を起こしたことに始まっている。旧石高は1450石である。立村当時より横須賀藩に属し代々本間家が、大庄屋または庄屋として村の開発に当り、田畑の開墾、砂防工事等の指導に献身し、開村当時40～50戸の寒村が、100年を経過した宝暦年間には200余戸の村落にまで発展した。

特に、1866年（慶応2年）の海岸開発は大掛りな開墾事業であったと伝えられている。

※本号より表紙は市役所社会教育課で作成した市内8地区の「学び歩きマップ」を紹介していきます。